

(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	関市立洞戸中学校		
実 施 期 間	平成25年11月9日(土)		
実 施 概 要	<ul style="list-style-type: none"> 11月9日(土)に各学級の合唱を交流する「ホラド祭」を計画し、洞戸中学校の伝統ある活動として、1学期から誇りを持って取り組んできた各学級の合唱と全校合唱を全校生徒、保護者、地域の方々に発表した。合唱交流会の後に、家庭教育学級として、武義高等学校吹奏楽部を招き、音楽鑑賞会を行った。 		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input type="checkbox"/> 授業公開 <input checked="" type="checkbox"/> 成果発表 <input type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	44人	計 64人
	地域関係者	20人	
実 施 状 況	<ul style="list-style-type: none"> 11月9日(土)に「ホラド祭」を計画した。 第1部は、文化委員会を中心に、洞戸中学校の伝統として、1学期より誇りをもって取り組んできた各学級の合唱と全校合唱を発表した。 <ul style="list-style-type: none"> 1年A組 「未来へ」「マイバラード」 2年A組 「旅立ちの時」「空も飛べるはず」 3年A組 「道」「信じる」 全校合唱 「HEIWAの鐘」「花は咲く」 表情豊かに楽しく歌うことや互いの声の響き合いを意識することを目標に全学級が精一杯の合唱をした。 合唱の前に各学年のあゆみを発表する場を位置づけることで、仲間とともに取り組むことの素晴らしさや大切さを生徒の言葉で語ることができた。 体育館壁面に一人一人の良さみつけの掲示と合唱についての取り組み、文化委員会の合唱の歩みを掲示することで、生徒が仲間とともに活動する良さを感じることができた。 第2部は、好評であった昨年、一昨年に引き続き、武義高等学校吹奏楽部による音楽鑑賞会を行った。 学校だより、ホラド祭参観案内の配布、自治会へのチラシの回覧などを通して、保護者や地域の方への参観を積極的に呼びかけた。 		
成 果 及 び 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ホラド祭スローガン「守ろう！洞戸中の伝統を！！伝えよう！感動を！！～感動のある合唱を目指して～」に向かって、自分たちがめざす学級の姿を明確にして合唱に取り組むことができた。 洞戸中学校「四本柱」(合唱、無言清掃、あいさつ、学習)の一つとして、合唱の伝統を大切に、さらに向上させようとしてリーダーが中心になり、課題を示したり、呼びかけをしたりしていく中で、ほかの仲間が応えようとする姿がたくさん見られるようになった。 生徒会の本年度のスローガンは「自治」である。生徒自らがそのことを意識して、合唱練習だけでなく、仲間とともに活動することの大切さを意識し、よりよい学校づくりへの活動として、合唱を大切にしていこうという意識が育っている。 2度にわたり大和北小学校より音楽講師(鷺見先生)を迎えて合唱練習に取り組むことで、誇りをもって合唱に取り組もうとする姿勢やさらによりよい合唱をめざしていこうとする意欲を高めることができた。 洞戸地区で行われている「ピースベルフェスティバル」に、中学校生全員で参加し合唱を発表している。地域の方にも中学生の姿を広めている。また、今年度は、洞戸地区で「関にし祭典」があり、その場でも中学校の合唱を披露した。これらの活動からホラド祭への参観も増えている。地域の方々がたくさん参観してくださり、生徒の活動を支えてくださった。積極的に地域の行事で合唱を発表していることや学校行事への参観を地域に積極的に呼びかけていること、地域との交流学習を進めていることの結果だと感じた。 目の前で吹奏楽部の演奏を聞いた生徒は、その迫力と素晴らしい演奏に感動していた。また、高校生の工夫を凝らしたパフォーマンス(ダンス)をみて、高校生活への憧れを膨らませた生徒も多かった。 		